



# む け 無 憂 華

浄土真宗本願寺派正念寺  
常陸太田市久米町20-1  
発行：正念寺護持会

電話：0294-76-2058  
FAX：0294-76-0169

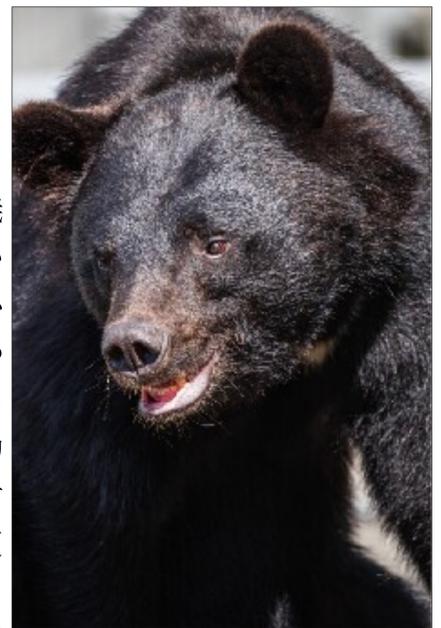
## 熊被害を考える

報道によると、今年は熊による被害がかなり多くなっていると言います。環境省の統計によると、10月6日の時点での人的被害は108名になっており、その内死者は5名と報告されています。また、10月に入ってからの死者は急増しており、10月30日時点になると、12名の方が命を失いました。最近では、ここ茨城においても県北部での熊の目撃情報が寄せられており、より一層の注意を払う必要があります。

昔、北海道のヒグマは恐ろしいが、本州にいるツキノワグマは、おとなしいので怖がりすぎなくても良い、と聞いた事があります。しかし、現在ではツキノワグマによる被害も非常に多くなっており、また明確に人を食べる為に、人のいるところに来ている熊もいるようです。北海道の福島町で、7月に新聞配達員が襲われ食い殺された事件は、ヒグマが被害男性を数日前から付け狙っていて、町中で凶行に及んだものと言われてい

ます。以前は、熊よけに鈴を持って行けと言う事が言われていました。しかし現在では、鈴の音がすると言う事は、そこに食べ物があると熊に教えているようなものだとも言われるようです。そこに今年は、熊の餌になるドングリなどが不作という事も合わさり、簡単に餌を得られる人里に降りてきているとも言われています。余計に熊と人間の接触する機会が多くなっているわけです。こうして、熊による被害も増えていくという事になります。

さて、こういった事故(事件)が続くと当然熊の駆除という事になるわけですが、そういった報道がなされると駆除に反対する人々や団体が、当該自治体に対する抗議という事態が起こります。それは、熊がかわいそうという感情的なものや、人間が熊の生息地を奪ったのだという人間中心的な考え方に対するアンチテーゼまで様々な意見が殺到すると言われるます。こういう抗議は、自治体の通常業務を脅かす程の量になると言われます。もちろん仏教的な観点から言えば、人間の命も動物の命も果ては植物の命まで、いのちの価値としては同等なわけですから、駆除反対を叫ぶ人たちの意見も理解は出来ます。しかし、反対を叫ぶ人たちは、自分は安全な場所において、被害のただ中にいる人の気持ちはどこかに置き忘れてるように感じます。自分の身近な人が被害に遭ったらどうなのか？あるいは自分が被害に遭ったなら？今そういう視点が忘れ去られているように感じます。



私たちは、ともすると自分中心に物事を考え、自分の考えが正しいと思込みがちです。しかし仏教では、諸法無我と言う教えがあります。つまり、永遠に変わらないものなどあり得ない、と言う事です。自分の考えが正しいと思っても、自分に熊が襲ってくる状況になれば、その正しいと思った考えもどこかに飛び散ってしまうでしょう。色々な考え方の人がいて、それは当然です。その中で、様々な視点をどう処理するのか。その上で、自分はどう考え、どう行動するか。一つの見方に固執せず、柔軟に考えていきたいものです。

お  
釈  
迦  
様  
の  
ご  
生  
涯

(第11回)※仏教の教えを開かれたお釈迦様(仏陀)のご生涯を書いていきます。

お釈迦様の生涯 維摩居士の話

維摩経というお経がありますが、これは、維摩居士という人物が主人公になっているお経です。維摩という人は、今まで紹介してきた舍利弗や目連たちのように出家したお弟子ではなく、普通の生活を営んでいる商人でした。なお、居士とは在家の弟子を指す言葉になります。

維摩経のあらすじ

ある日、維摩は病にかかっていました。釈迦は舍利弗・目連・迦葉などの弟子達に見舞いに行くように指示します。ところがどの弟子も維摩の見舞いに行くことを様々な理由を付けて拒みます。

なぜなら、過去にどの弟子たちも、座禅や説教、病気、道場、法施などの様々なテーマで維摩の質問に答えられなくなり、やりこめられた経験から見舞いに行くことを嫌がったのです。

ならばと、次に菩薩たちに見舞いに行くように言います。

その中でも文殊菩薩と維摩は鋭い熾烈な問答が交わされます。

また、天女があわれ、そこにいた舍利弗と問答する場面や、維摩経のテーマである不二法門(ふにほうもん)について、菩薩たちは様々な答えを出しますが、維摩の回答は、なんと、何も語らぬという沈黙のシーンは名場面となります。(維摩の一黙、雷の如し)

維摩は神通力で仏土より遠くにある衆香国という国の香積という仏を呼び、この娑婆世界を見学させ、この世界の衆生の教化がいかに難しいかを語ります。

最後に釈迦が登場し、尽無尽の説法や本当の供養の説法などを行い、この維摩経を広宣流布するように命じるのです。



維摩居士像

安倍文殊院ホームページより

数々の維摩経の教え

・心の持ち方、自分次第でこの世は清浄な世界になる。そう見えないのは自分がそう見ようとしていないからか、もしくは見る目が無いかである。

・身体は幻想である。だから病気も幻想であるが、その病気を治すためにはまず仏教の教えを求めようとする気持ちをおこすことだ。

・迷いと悟りは、相対する別のように思うかもしれないが、不二である。生と死も不二で、不生であり不生滅であるから無常である。

・善と悪、有と無、汚濁と清浄、煩惱と菩提など対立するものの一方だけに執着するのではなく、二つのものを不二と思い、行うことが重要である。

・体験を言語化するには限界があるが、言葉が無意味であるかといえばそうではない。

# お寺でライブ 一期一会落語会

10月4日(土)に、一期一会落語会が行われました。毎年好評な中で開催しておりますが、今年も沢山の方に来ていただき、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

また、柳家ひろ馬さんが今月より二つ目に昇進し、改名して柳家わか馬さんとなりました。今後とも活躍を念じて応援させて頂きましょう。

なお、今回寄せられた募金は、20,655円になりましたが、これは茨城新聞社に届けさせて頂きました。



柳家平和師匠



柳家ひろ馬さん

すべて悪しきことをなさず、善いことを行ない、  
 自己の心を浄めること、これが仏教である。  
 法句経より

お寺でライブ  
花祭りコンサート

来年4月4日(土)には、毎年恒例になった『花祭りコンサート』を行います。お陰様でこのコンサートも定着し、毎回満席になるほどの好評を頂いております。

今年も14時より天下井朱美様をお願いして正念寺本堂で行います。今回も沢山の方に参加していただき、ご一緒にお釈迦様のご誕生をお祝いいたしましょう。

## お仏供米奉納

- |        |         |
|--------|---------|
| 常陸太田市  |         |
| 井坂 友之様 | 井坂 ヨシエ様 |
| 小藪 篤様  | 小藪 達雄様  |
| 小藪 浩文様 | 勝山 芳和様  |
| 後藤 和夫様 | 仲村 義信様  |
| 平山 昌邦様 | 武藤 美徳様  |
| 那珂市    |         |
| 浅川 泉様  | 小澤 喜一様  |
| 住友 政美様 |         |

## これからの行事予定

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 12月 8日(月) 9時半～    | 聞法会             |
| 12月29日(月) 15時半～   | 炊上法要            |
| 12月31日(水) 14時～17時 | 年忘れの鐘           |
| 1月 1日(木) 8時～      | 修正会             |
| 1月 7日(水) 10時～     | 総代・世話人<br>初顔合わせ |
| 1月 8日(木) 10時～     | 聞法会初顔合わせ        |
| 2月24日(火) 9時～      | 清掃奉仕            |
| 3月 3日(火) 13時半～    | 仏具磨き            |
| 3月 8日(日) 13時半～    | 永代経法要           |
| 3月20日(金) 11時～     | 久遠廟法要           |
| 4月 4日(土) 14時～     | 花祭りコンサート        |

※記載漏れの方がございましたらご連絡ください。

## ホームページのご案内

正念寺のホームページでは、今までの寺報やちょっとした仏教の話、寺の縁起などもあります。浄土真宗本願寺派正念寺で検索すると表示されます。

スマートフォンなどからは、下記QRコードを読み込んで下さい。

また、ホームページからYouTubeの正念寺チャンネルへも行けますので、今までの花祭りコンサート等を是非お楽しみ下さい。



## 聞法会員募集のお知らせ

現在聞法会では、お釈迦様が話された言葉に最も近いと言われる『法句経』について勉強をしています。

とても分かり易い言葉であり、お釈迦様は決して難しい事は言っていなかったのだな、と思わされます。私自身も改めて教えられました。どうぞ皆さまのご一緒に勉強しましょう。

また、普段の生活の中で疑問を質問して下さいれば、わかる限り回答しますので、どうぞお気軽に参加して下さい。

3月・8月を除く毎月8日に開催しています。

## 感謝録

本願寺永代経として

金 二十万円

箕川 覚 様

※ 記載されていない方がおりましたら、ご連絡ください。

### 清掃奉仕作業参加者 令和7年 7月29日(火)

常陸太田市

井坂 淳 様	井坂 暢郎 様
井坂 ヨシエ様	石川 明美 様
石川 桃代 様	荻津 和典 様
佐藤 のり子様	吉崎 渉 様

那珂市  
箕川 清 様

### 仏具磨き奉仕参加者 令和7年 8月 5日(火)

常陸太田市

井坂 照雄 様	井坂 友之 様
井坂 ヨシエ様	猪口 治三 様
荻津 和典 様	坂内 愛子 様

佐藤 のり子様  
那珂市  
橋本 貢 様 箕川 京子 様

法要度に沢山の方にご協力をいただき、感謝に堪えません。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

※ 間違い等がありましたら、ご連絡ください。

## 住職雑感

暑さ寒さも彼岸までとはよく言ったもので、あの茹だるような暑さも、お彼岸になった途端に過ぎやすくなりました。と言うより、彼岸過ぎには、秋がほとんど無く一気に冬になってしまったようにも思われます。

この様な急激な温度変化には、からだがついて行くのも大変な事です。お互いに健康には気をつけたいものです。

さて、今年はサンマが豊漁と言われます。豊漁の理由は様々あるのですが、マスコミは黒潮の大蛇行が終わったからと言ってますが、本当にそれが理由なのでしょうか。昔から「サンマとイワシ、サバ」の3種は、数十年単位で豊富に穫れる魚が入れ替わると言う事も言われていますが、そういう現象が起こるのは何故でしょうか？

取り過ぎた(取れ過ぎた?)年が続いて、卵を産むべき親が減ってしまったと言う事も考えるべきではないでしょうか。一つの理由で状況が変わったわけではなく、様々な要因が絡み合っている現在の状況が生まれていると考えられます。

それでも今は、秋の味覚サンマをこうして頂ける事に感謝しながら、いのちの大切さも考え合わせて、大事に頂きたいものです。